

藍住町町制施行

70周年記念

志ん生・志ん朝のDNA

徳島で江戸落語を楽しむ会

志ん松改メ
七代目古今亭志ん橋
真打昇進披露興行

古今亭一門会

古今亭志ん丸

志ん松改メ
古今亭志ん橋

古今亭志ん五

令和7年6月22日

14:00開演 [13:30開場]

(終演予定16:15頃)

藍住町総合文化ホール(大ホール)

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1

木戸 銭

全席指定

一般 2,000円(当日2,500円)

高校生以下 500円(当日1,000円)

藍住町民券 1,500円(前売りのみ)

※藍住町民券を購入の際は住所確認のできるものをご持参ください。

チケット発売日 3/16(日) 午前9時～

チケット取扱い 藍住町総合文化ホール、電子チケット

※公演の最新情報や電子チケットについてはHPをご覧ください。

※藍住町民券の取扱いはホール窓口のみ。



藍住町総合文化ホールで2回の高座を務めた六代目古今亭志ん橋師匠が令和5年にお亡くなりになりました。「柳田格之進」「数入り」に感動したお客様は多かったことでしょう。令和6年9月に志ん橋師匠の最後のお弟子さんの志ん松さんが真打昇進を果たし、七代目志ん橋を襲名致しました。そこで、今回は、名人志ん生・志ん朝のDNAを継承する故古今亭志ん橋一門の会を開催します。志ん橋の惣領弟子で徳島でお馴染みの志ん丸、先代志ん五・志ん橋を師とした二代目志ん五、志ん橋の最後の弟子で師匠志ん橋の名跡を襲名した志ん松改メ七代目志ん橋が古今亭の断をたっぴり語ります。そして、徳島の地で七代目志ん橋真打昇進披露口上を行います。みなさんとご一緒に新真打、新しい志ん橋の誕生をお祝いしましょう。

演目

- ◆ 古今亭志ん丸 —— 開口一番
- ◆ 古今亭志ん五 —— 落語「出目金」
- ～ 中入り ～
- ◆ 真打昇進披露口上
- ◆ 古今亭志ん丸 —— お楽しみ
- ◆ 古今亭志ん橋 —— 落語「幾代餅」

お問合せ／藍住町総合文化ホール TEL:088-637-3344

主催/藍住町芸術文化鑑賞事業実行委員会
協力/徳島で江戸落語を楽しむ会(須藤茂樹)

志ん松 改メ 古今亭 志ん橋

ここんてい しんきょう

1984年生まれ。2009年に六代目古今亭志ん橋入門。2014年、志ん松で二つ目昇進。2023年師匠志ん橋没後、志ん橋の惣領弟子志ん丸門下に移る。2024年9月に真打昇進、師匠の名を襲名して七代目志ん橋となる。志ん橋最後の弟子である。師匠志ん橋の落語の継承に熱意を傾ける。志ん橋師匠の惣領弟子志ん丸さんが師匠として寄席4軒の襲名披露口上に加わった。

古今亭 志ん丸

ここんてい しんまる

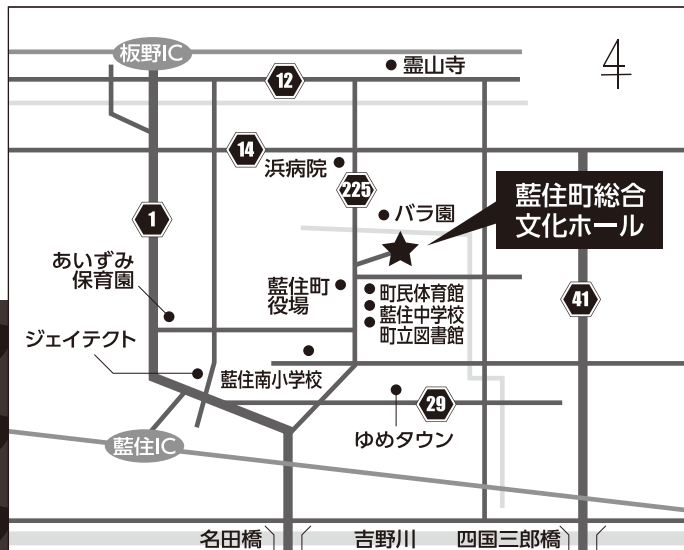
名人古今亭志ん朝の愛弟子古今亭志ん橋の惣領弟子。徳島では般若院寄席などでおなじみ。古今亭のネタを大事に丁寧に熱演。映画「の・ようなものの・ようなもの」では主演松山ケンイチ、北川景子に落語を指導。芸人らしい落語家さんだ。

古今亭 志ん五

ここんてい しんご

1975年生まれ。2003年に古今亭志ん五入門、2006年二つ目昇進、志ん八。2010年師匠没後、志ん橋門下に移り、2017年9月真打昇進して二代目志ん五を襲名。古典だけではなく、新作落語にも取り組む。「七福神オーディション」は今後も残っていく新作落語でしょう。国立芸芸場「花形芸芸大賞」金賞などを受賞。家庭菜園が趣味、落語家さんの似顔絵は個展を開くほど。

アクセスマップ(藍住町役場から徒歩3分)



藍住町総合文化ホール

771-1203 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1
TEL 088-637-3344

※駐車場の台数には限りがあります。
乗り合わせでご来場ください。

▶ 藍住町総合文化ホール公式アカウント

公演の最新情報などを配信しています。



[LINE]
ID:@756whbmr



[X (旧: twitter)]
ID:@aizumi_bunka



[Instagram]
ID:aizumi_bunka